



狩野探幽

竜虎屏風

桑名・諸戸家 コレクション

新春特別企画

左隻(部分)

右隻(部分)

茶道具にみる日本の美

大名物 青磁蕪無花入

狩野山雪楼閣山水屏風
今尾景年 松竹小禽屏風
藤原定信筆 石山切貫之集下
藤原定信筆 戊辰切
藤原為家筆 姫路切
小堀遠州筆 歌入文
松花堂昭乗筆 色紙
烏丸光廣筆 懷紙
烏丸光廣筆 短冊
松平定信筆 和歌二首
小堀宗中筆 二字
狩野探幽筆 円窓南極老人図
花乃舎筆 雪中南天に鶴鶴図
狩野探幽 竜虎屏風
今尾景年筆 海上双輪図
中村左洲筆 二見浦、内宮図
大名物 青磁蕪無花入
古銅下莖花入
青磁鉄鉢 水指
備前重ね餅水指
平沢九朗作 志野写耳付水指
中興名物 瀬戸真如堂手茶入
瀬戸白茶入
呉州周茂叔香合
祥瑞襪 香合
交趾錢 香合
天明水
芦屋松
時代松
高田十
和蘭
青井之
魚々屋
茂三作 本茶碗
黒織部茶碗

古井戸茶碗
鶴羽箆
衆只茶碗
認得茶碗
比老茶碗
小堀茶碗
南蛮茶碗
古七茶碗
古銅茶碗
衆只茶碗
唐物藤
宗和好 桑柄桜皮巻火箸
如心斎作 共筒茶杓
金盛徳元在作 鉄竹節釜銀
久田宗全作 藤組釜銀

時代松竹鶴詩絵大東
八田玄斎作 灰器
伊賀耳付水指
石州好 桑柄桜皮巻 灰匙
益田鈍翁
君が代画賛
鈍阿焼黒筒茶碗

青井戸茶碗

平成28年 1月2日[土]~2月14日[日] ※会期中無休

会場：パラミタミュージアム 2階展示室

開館時間：午前9時30分~午後5時30分(最終入館は午後5時まで)

入館料：一般1,000円(4枚セット券3,000円)/大学生800円/高校生500円/中学生以下無料

主催：公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム

後援：中日新聞社、伊勢新聞社、朝日新聞社、読売新聞社、NHK津放送局、三重テレビ放送、三重エフエム放送

特別協力：公益財団法人 諸戸財団

関連イベント：

記念講演会

日時：1月17日(日)午後2時~ 講師：諸戸公子氏(諸戸財団 学芸員)

パラミタコンサート 悠久の響き-箏の息吹に耳をすまして-

2月7日(日)午後2時~ 箏・二十五絃箏：日原暢子 三絃：日原典子

桑名・諸戸家コレクション 茶道具にみる 日本の美

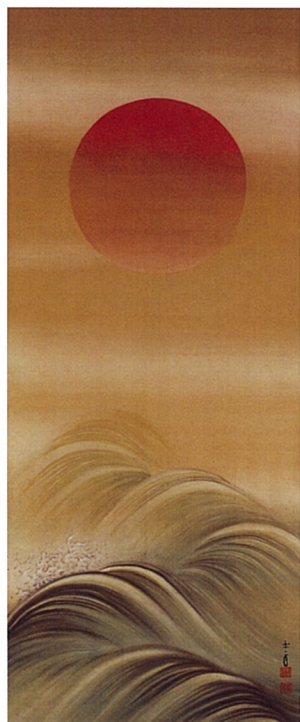
初代 諸戸清六翁は1846年、加路戸新田(桑名郡木曾岬町)に諸戸家の長男として生まれました。そして18歳の若さで当主となり米の仲買で財をなすと、私財を投じて桑名市民のために当時最新の上水道(諸戸水道)を建設し、市内の30箇所以上に消火栓を設けるなど、公益事業にも力を注ぎました。また同時に、郷土の文化財流出を防ぐため、美術品を蒐集しました。

1906年に清六翁が死去した後、次男 精太氏が本邸を受け継ぎました。精太氏は茶道 松尾流や、数寄者として有名な益田鈍翁(孝)とも親交を結びます。清六翁同様美術品を蒐集しますが、精太氏は特に厳選された茶道具を蒐集しました。この二代にわたり蒐集された数々の名品が現在の桑名・諸戸家コレクションの礎となっています。

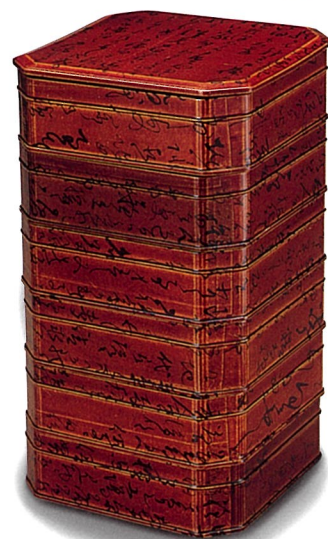
本展ではこの質の高いコレクションより、「大名物 青磁燕無 花入」「中興名物 瀬戸真如堂手 茶入 銘 藤重」「小堀遠州作 共筒茶杓 銘 鼓の瀧」などの茶道具の逸品をはじめ、狩野探幽「竜虎屏風」、狩野山雪「楼閣山水屏風」、松平定信筆の和歌など、諸戸家ゆかりの名品68点を展示します。



今尾景年筆 海上双輪図 1910年



松花堂昭兼筆 色紙



益田鈍翁 好反古張縁高重



小堀遠州作 共筒茶杓
江戸時代初期



平沢九朗作 志野写耳付 水指



芦屋松竹梅地紋 釜



呉州周茂叔 香合
明時代(17世紀)

次回展示のお知らせ：

市野雅彦 陶展 平成28年2月18日(木)～3月28日(月)

市野雅彦は1961年、丹波茶陶の伝統を受け継ぐ陶芸家の家に生まれました。丹波の伝統・風土を規範としつつも、あえて現代的意匠の作品に取り組む雅彦氏の作品は国内外で高い評価を受けています。今回も独特の線紋を生かした作品から、伝統の赤ドベと呼ばれる釉薬を用いたものまで、自由な心象造形の世界をくりひろげます。

■お車をご利用の場合＝東名阪「四日市IC」で降りて国道477号(湯の山街道)を湯の山方面へ約6.5km。■無料駐車場あり(普通車100台、大型/バス駐車可)
■電車をご利用の場合＝近鉄「四日市駅」下車、近鉄湯の山線に乗り換え約25分「大羽根駅」下車、西へ300m。■全館バリアフリー、車椅子常備

